

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2013

6月号

Vol.193

毎月1日発行

杜の伝言板

ゆるる

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業



念願の施設再建 ようやくオープン!



こちらは田んぼ開き...?

特集
復興への道

- 認定NPO法人地球のステージ
- NPO法人泉里会
- NPO法人田んぼ
- NPO法人みどり会
- NPO法人宮城県断酒会

【トピックス】 ■NPOで高校生の夏ボラ体験2013

子どもたちと 次のステージへ

●認定NPO法人地球のステージ

地球のステージは、もともと災害時の緊急医療支援、東ティモールでの保健医療事業、パレスチナなどの紛争地や地震等の被災地での心のケア活動に端を発し、二〇〇二年にNPO法人になりました。日本国内では、心療内科医でもある代表理事の桑山紀彦さんの海外での出会いや支援体験をもとに、一九九六年から語りと映像と音楽から構成された公演「地球のステージ」を通じて国際理解を進める教育活動を行ってきました。

●●● 表現を通じて自分と向き合う ●●●

震災があった二〇一一年の六月、地球のステージは地元名取市の子どもたちの心のケアに取り組みたいと、公益社団法人日本国際民間協力会（NICC）の協力を得ながら、下増田地区・閑上地区の小学生を対象に心のケアワークショップ「スカイルーム」を開催。以降、写真や絵、ジオラマ制作などの表現プログラムによって、子どもたちの気持ちの吐

き出しを進めました。

去年は映画制作にも挑戦。七月から桑山さんの作った小作品を題材に映画づくりのノウハウを学び、九月からオリジナル作品「不思議な石」の制作に入りました。ストーリーは、子どもたちが被災地を巡って五つの石のかけらを探し、それが一つになると天国から声が聞こえてくるというものです。十二月までの四か月間、子どもたちは月曜から金曜日まで曜日別に分けられたチームごとに撮影を続けてきました。

●●● 乗り越えた先に芽生えた自信 ●●●

撮影を担当したスタッフの林由美さんは「なくなってしまう自分の町で映画を撮ったことに意味がありました。元氣に見える子どもも被災地に行くことで、普段とは違うたいろんな思いが生まれてきます。その思いと向かい合い、自分の気持ちを自分の言葉で表現することで、子どもたちはつらい経験を乗り越えてきました」と語ります。今年一月の上



▲映画「不思議な石」の撮影風景

映会には、災害で傷ついた子どもではなく、自分と向き合い、それを表現し、自信を持った子どもたちの姿がありました。

スカイルームの活動は、今年四月の修了式を持って終了し、これからは、「被災地での心理社会的ワークショップ」のノウハウを全国に広げていく活動に移ります。その一環で現在は新しい映画の撮影が進行中です。「不思議な石」は、子どもたちのために作った映画、そして、今度の作品は、これまでの取り組みを全国に発信するための作品です。被災経験を語ることをタブー視するのではなく、向き合っ前に進むことの大切さを伝えます。

また、震災から三年目を迎えた今年、被災地での心のケア活動を全

国に発信しながら、少しずつ震災前に行っていた東ティモールやパレスチナへの支援活動も復活させていきたいとも考えています。

●●● 認定NPO法人として ●●●

これまでの活動は、全国からの寄付によって支えられてきました。応援してくれた方たちに恩返しがい、そして、これからも応援してもらえる団体でありたい。その想いから、地球のステージは認定NPO法人取得を目指し、今年の四月二十六日、晴れて宮城県認定第一号となりました(※)。事務局長の後藤明子さんは、「応援してくれた皆さんに、寄付金の一部が還元されるだけではなく、認定を目指す過程で運営を見直し、組織の基盤整備ができた意味でも恩返しができるのではないかと思います」と語ってくれました。

子どもたちが震災を乗り越えて成長してきたように、地球のステージも復興から成長へと新しいステージへの道を歩んでいます。

認定NPO法人地球のステージ

〒981-1217 名取市美田園7-17-3
 ●TEL : 022-738-9220
 ●FAX : 022-383-8330
 ●E-mail : stageone@e-stageone.org
 ●URL : http://e-stageone.org/

※認定NPO法人制度は国税庁の認定のもと二〇〇一年に始まったが、昨年のNPO法改正を経て、認定業務が都道府県等の所轄庁へと移管された。これまで国税庁認定の認定NPO法人は県内に三法人あったが、宮城県認定としては地球のステージが第一号。

新たな拠点で 『地域で暮らす』をサポート

● NPO法人泉里会

気仙沼市本吉町で二〇〇八年から障がい者の自立生活支援施設「ケアホームめぐみ」を運営しているNPO法人泉里会(以下、泉里会)。

震災で発生した津波によって、開所目前だったケアホームは全て流失。地域からの要望もあり、施設再建が切望されていました。

●●● 念願の猪の鼻ホーム開所 ●●●

本吉町やその周辺には、障がい者支援を行う団体や施設は少なく、震災後、ケアホームめぐみだけでは、受け入れる施設も職員の人手も足りない状態でした。地域の声に早く応えたいと、施設再建のため、助成金や補助金を得るため奔走。やっと県からの補助を受け再建までこぎつけ、五月十八日「ケアホームめぐみ猪の鼻(以下、猪の鼻ホーム)」が開所しました。新施設は津波被害から免れた、小高い丘にあります。念願の施設再建がなかったことについて、「全国各地と国外からの支援、地主さんや自治会長さんの協力が

あったからです」と森谷隆三理事長は語っています。

知的、精神障がいを持った方の生活支援を行っている泉里会では、猪の鼻ホームでは支援がより必要な重度の方を、ケアホームめぐみでは利用者さんの自立を手助けする支援と、施設によって利用者の障がい特性を考慮し、サポート方法を変えて対応しています。

●●● 新たな布陣で新たな事業も ●●●

ケアホームだけの運営にとどまらず、泉里会では宮城県からの認可を受け、六月から障がい者のための相談支援事業も開始します。

「在宅の方にも、困りごとはあるはず。今まで泉里会では相談窓口は設けていなかったのですが、ケアホームを利用する方だけでなく、地域で暮らす皆さんを支えたいと思ったのがきっかけです」と、ケアホームめぐみ管理責任者の菅原満子さん。

施設開所には人手も欠かせません。今回は四名の生活支援員が就職

しました。新職員の渡辺希晶さんは「高校の福祉科で学び、福祉関係に進みたかったですし、震災を機に、地元で就職したいという気持ちが強くなりました」と話しています。そして、今年の四月からは、東京都社会福祉協議会から人材支援を受け入れています。一年間アドバイザーとして、新人の育成や被災地域の福祉の底上げを図ります。

「新しく入ったスタッフの皆さんに私たちが持っている経験や知識、福祉の魅力を伝えることで、将来は気仙沼の福祉を盛り上げていく存在になってほしいですね」と、応援に入っている掛川恵二さん。

昨年八月、学校の夏休み期間に一時的に行っていた障がい児の日中



▲ケアホームめぐみの菅原さん(左から2番目)と新スタッフの皆さん

一時支援も再開します。当時は助成で得たプレハブを利用していましたが、今回猪の鼻ホームの隣に新たに施設を作り、「めぐみキッズハウス」としてオープンします。新施設では今年六月から放課後等デイサービスと、未就学児の日中一時支援を開始予定です。

未就学児と放課後等デイサービスを組み合わせることで、地域の顔つながりができるほか、家族や学校の先生以外の大人と接する場となることが狙いです。

●●● 応援を糧に ●●●

「震災で失うものも多かったが、それ以上にボランティアの方々、支援団体の方に支えてもらいました。きちんとした体制を整え、運営していくことで、よりよいサービスを提供できる。頂いた支援を活かし、今度は地域の利用者の皆さんに還元していきたいと思っています」と森谷さんは今後への想いを語りました。

NPO法人泉里会

〒988-0331 気仙沼市本吉町中島141-6

●TEL : 0226-31-1226

●FAX : 0226-42-3348

●E-mail : senrikai@email.plala.or.jp

●ケアホームめぐみのブログ : http://blogs.yahoo.co.jp/megumi_castle

田も地域も蘇らせる伝統農法

●NPO法人田んぼ

現在一般的に行われている水稻栽培では、農閑期にあたる冬期には農地に水を張りません。それに対して、冬期にも水を張り続ける「ふゆみずたんぼ」という伝統農法があります。「ふゆみずたんぼ」には乾田に比べ、水田内の生物・微生物が活性的に土壌を豊かにするという特徴があり、震災以後、その農法が被災した沿岸部の水田の復元にも利用されています。

この「ふゆみずたんぼ」の普及を進めるために二〇〇五年に立ち上がり、現在、被災地の水田復元に臨んでいるのがNPO法人田んぼ(以下、「田んぼ」)です。

被災地水田の復元

震災以降、沿岸被災地は、ある程度まとまった規模の水田であれば、公的な補助を受けて除塩も進められるのですが、棚田や、谷津田のような水田では復旧が諦められ、半ば放棄されているというのが現状です。

大崎市に事務所を構える「田んぼ」は震災の発生直後、沿岸被災地で物資支援を始めとする様々な支援を行いつつ、四月下旬からは団体の専門である水田の復元を復興活動の中心に据えました。



▲今年5月、南三陸町秋田川地区の水田への水入れを行いました

になっている農地があるなら、『ふゆみずたんぼ』によって被災地に希望を与えたかった」と理事長の岩瀨成紀さん。

その活動は震災直後の二〇一一年四月下旬、気仙沼市大谷小学校の学校田復元から始まりました。震災前から学校教育の一環として、「田んぼ」の協力のもと「ふゆみずたんぼ」を実践してきた水田です。がれきの撤去、津波の堆積土の除去、畦(あぜ)の復元、水路の復元、抑塩のための湛水など、一か月半ほどかけて、約二六アールの水田をその年のうちに復元しました。作業前後に土壌の成分分析を実施した結果、塩分濃度が大きく低下したばかりか、十分な栄養分があることもわかり、この年の収穫は津波被災前を超えました。「自然の回復力を実感しました」と岩瀨さんは感銘を漏らします。

以後これまで、南三陸町小森熊田と秋目川、塩竈市寒風沢島、そして岩手県陸前高田市米倉の水田の復元



▲法人事務所裏にある水田で「ふゆみずたんぼ」の説明してくれた岩瀨さん

を手掛けてきています。当然のことながら、被災状況も農地環境も、住民も、地域によって事情が大きく異なります。それぞれの地域に合わせた水田の復興を行い、地域が自立する仕組みを支援するのが目的です。

被災農家を買収する仕組み

水田を復元させるだけでなく、経済的自立を果たしてこそその復興だと岩瀨さんは考えています。そのために「田んぼ」が支援しているのが「サニシキ復活プロジェクト」です。

このプロジェクトでは、被災地を含む「ふゆみずたんぼ」によって作られたサニシキを「福幸米」として全国へ販売。一袋(三キロ・五キロ)あたり二〇〇円が復興支援金として次年度の苗代になる仕組みです。二〇一一年度の復興支援金から寒風沢島七アール、南三陸町七アール分の苗代を賄うことができました。

ゆくゆくはそれぞれ地域に新たな「福幸米」の仕組みが生まれ、集落の担い手が育まれてほしいと、「田んぼ」は願っています。

NPO法人田んぼ

〒989-4302 大崎市田尻大貫字荒屋敷29-1
●TEL/FAX : 0229-39-3212
●E-mail : npotambo@yahoo.co.jp
●URL : http://npotambo.com

施設とともに新たな一歩を

● NPO法人みどり会

今年四月、NPO法人みどり会（以下、みどり会）の事務所が仙台駅東口のバルシティ三階に移転しました。

みどり会は仙台市で精神障がい者とその家族を支援している団体です。「みどり工房永和台」「みどり工房若林」の二つの小規模施設活動センターと、「みどりの家小田原」「みどりの家中江」の二つのグループホームを運営し、精神障がい者がその人らしい暮らしをするための支援をしています。震災により「みどり工房若林」が全壊し、一時は活動が出来ない状態になってしまいました。理事長の尾崎正光さんを中心にその年の六月には新施設で活動を再開し、震災後も精力的に活動を行っています。

●●● 震災がもたらした心的影響 ●●●

震災から二年が過ぎた現在ですが、この二年でみどり会を頼る人が多くなったと尾崎さんは話します。震災により、仮設住宅へ移り生活が

変わってしまったことへのストレス、肉親の死、地震に対する不安など、心身ともにダメージを受けた人は決して少なくありません。行政には「同じ悩みを持つ仲間や相談相手がいるところはないか」「精神関係の保健福祉の話が聞けるところはないか」などの問合せが相次ぎ、行政がその受け皿としてみどり会を紹介しているのです。みどり会には、会員やその家族が他の人と悩みを共有できる懇談会があります。心的ストレスを抱えた当事者にとって、みどり会の懇談会は有意義な時間となっています。

この懇談会からかねてより「気軽に相談に行ける常設のセンターが欲しい」との声が上がっていました。みどり会ではもともと永和台や中江の施設に家族相談窓口を設けていましたが、地理的な問題から、普段通いするには都合がよくなかったのです。

そこで、みどり会は新たに仙台市の中心部に事務所を移転するとともに家族相談支援センターを設けるこ

とになりました。これが冒頭で紹介した新事務所です。

●●● ステップアップのために ●●●

さらに新事務所には就労移行支援機能も備えることになりました。これまで、授産施設として「みどり工房永和台」がアクセサリーなどの雑貨類の制作をメインに行い、当事者のストレス解消や目標達成をサポートしてきました。しかし、今後当事者の方々がより実社会に溶け込んでいくためには、もう一段階ステップアップした内容の就労支援を行なう必要があると尾崎さんは以前から感じていたのです。

就労移行支援の内容としては、社会で継続して働いていくための基本



▲新事務所にぼつんと置かれた机に座る諸橋悟常務理事。「7月にはすぐ手狭になると思います」とのこと

的なスキル、パソコンやビジネスマナーなどの研修を実施していくこととなります。

現在のところ新事務所には事務所機能しかありませんが、今後は相談や作業所のスペースを整え、七月をめどに本格的なオープンを目指す予定です。

●●● 求める声に応えるために ●●●

今後のみどり会の活動を見据え、尾崎さんは「震災から二年経つたとはいえ、今も地震の影響は県内全域に根強く残り、ストレスが間接的に生活に影響しています。これからますます求められる需要を見つめながら、しっかりと応えていかなければなりません」と力強さをにじませます。

事務所を移転したことで、これから今まで以上の幅広い支援をしていくことがみどり会に期待されます。もっと必要とされる支援を、新事務所から、みどり会の活動が新たに始まります。

NPO法人みどり会

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8
 パルシティ 3-D
 ●TEL : 022-353-7541
 ●FAX : 022-353-7543
 ●E-mail : s-midorikai@iaa.itkeeper.ne.jp
 ●URL : <http://sendai-midorikai.eek.jp/index.html>

「知る」と「知る」で広がる支援の輪

● NPO法人宮城県断酒会

今、阪神・淡路大震災の経験から、東日本大震災の被災地でもアルコール依存症の増加が注目されています。宮城県内では、三十年以上前から活動を続け、二〇〇〇年より法人化したNPO法人宮城県断酒会（以下、断酒会）が、支援活動を行っています。

● ● ● 知る限りの支援を ● ● ●

断酒会では長年、アルコール依存症者が集まり、体験談を語り合う『例会』を県内十八か所毎月二回〜四回と定期的に開催してきました。仙台市ではリハビリ施設の『Campus どんぐり』、就労支援施設の『ワークしんせい』、それと電話相談窓口を運営し、断酒によるアルコール依存症からの回復を目指しています。

ところが、東日本大震災で環境は一変。例会で利用していた各地の市民センターは、避難所となり使用できなくなりました。運営施設の復旧作業に日々追われるなかで「避難所

介してほしい」との電話が引つきりなしの状況となりました。

そこで断酒会では、震災直後から八月頃まで、飲酒についての注意事項や相談機関の一覧を掲載したチラシを持って避難所を回りました。また、避難所から仮設住宅へ移る人が増えた頃からは、各地域の保健所や仙台市の一般社団法人パーソナルサポートセンターと協力し、仮設住宅を支援員と一緒に回りました。

各地での例会も順次再開していきましたが、各例会所なかで最も沿岸部寄りの場所にあった石巻例会所の再開は二〇一一年十二月のことでした。

● ● ● アルコール依存症を「知る」 ● ● ●

仮設住宅を回り始めた頃には、新たな課題も出てきました。個別の間ができたことでお酒の問題が見えづらく、立ち入りにならなくなったので

また、専門知識がほとんどない支援員には、アルコール依存症者への



▲「相談の電話は家族や周囲の方から掛かってくることも多いです」と敦賀さん

対応に疲れが見え始めました。アルコール依存症は否認の病と言われます。依存があることを本人がなかなか認めないためです。そのうえ、お酒を飲んでいない状態では一見判断が付きません。また、震災後は、潜在的に依存傾向がある人の飲酒量が増えたり、断酒していた人が再びお酒に依存し始めたりするケースも少なくありませんでした。

このような事情があるため、家族や支援者にはアルコール依存症の正しい理解が求められます。

自身も依存症から脱却した経験を持つ副理事長の敦賀眞一郎さんは「それでもアルコール依存症は回復するということを伝えたいです」と話します。

● ● ● ● ● 当事者と外部をつなぐ ネットワーク ● ● ● ● ●

しかしながら、依然、世間にはアルコール依存症者に対しての根強い偏見があります。そのような偏見を無くし、世間からの正しい理解を得るには当事者だけでなく、外部との協力も不可欠です。

昨年は各地で例会を開催しつつ、東北唯一のアルコール病棟を持つ東北会病院と歩調を合わせ、気仙沼での支援員向け研修会を年六回開催。医師による講義、当事者の体験談を交え、実際に支援する人々の悩みを聞きだしました。

今後の方針として、断酒会は当事者、専門家、市民によるネットワーク作りを掲げています。「支援もアルコール依存症からの回復も、短期間で結果が出るものではありません。地道に努力してつなぐを、その現場に合わせ取り組みをしていきます」と敦賀さんは話しました。

NPO法人宮城県断酒会

〒980-0821 仙台市青葉区春日町4-1
遊佐ビル101
●TEL : 022-214-1870
●FAX : 022-738-7181
●E-mail : miyagidansyu@yahoo.co.jp
●URL : http://www15.ocn.ne.jp/~miyadan/

NPOで高校生の夏ボラ体験

2013

地域が抱える課題を解決するために活動しているNPOを知ってもらい、ボランティアに踏み出す一歩になればとNPO法人杜の伝言板ゆるる(以下、ゆるる)は二〇一三年から「NPOで高校生の夏ボラ体験(以下、夏ボラ)」を開催しています。毎年受け入れNPOやプログラムを検討しながら実施し、昨年は県内の二十校から一〇五名の参加がありました。十一回目を迎える今年もNPO三十団体が高校生の体験先に決定しています。

子ども支援が人気

受入団体には福祉や子ども関係のほか、国際交流、ホームレス支援、まちづくり支援といった多様な受入先があります。主催するゆるるでは、団体と高校生が顔の見える関係で体験してほしいという思いから、各団体少人数での受入れとしています。そのため受け入れ先の団体については、どうしても高校生全ての希望に沿うことは出来ません。



▲高齢者と一緒に歌を歌う高校生たち

それでもできるだけ多くの高校生の希望をかなえたいと、例年希望が多い子ども関係の受入団体として、今年も新たにNPO法人アフタースクールぱるけ(以下、ぱるけ)が加わりました。

今年、初めての受け入れとなるぱるけは、障がい児を持つ家族が安心して子どもを預けられるよう、児童デイサービス事業を中心に活動しています。今回は、ぱるけが仙台市内に構える三事業所での受入体験で

す。それぞれの地域に根差し、「障がいを持っていても地域で暮らす」を支える活動を体験するプログラムとなっています。

企業とNPOが協力して

夏ボラは、企業からの応援も受けて実施しています。二〇〇八年からは、河北新報グループで構成される社会貢献団体『かほく「108」クラブ』と共催し、資金の提供を受けています。詳しくは、今月から始まったかほく「108」クラブコーナー(十三頁)をご覧ください。

特に二〇一一年からは、NPOと高校生の顔合わせの場である事前学習会で、「教育に新聞を」を掲げるNIE活動の一環として河北新報社の社員が、強みを活かした「文章の書き方講座」や「新聞の読み方講座」を行っています。

高校生にとって新聞を読む習慣はなかなかありませんが、講座を終えると「少し読むだけでも勉強になることがわかった」、「読み方がわかる」と読む気になる」という声も多く挙がりました。今年も参加する高校生にとって実りあるものになるよう、企画を準備しています。

そして、このような夏ボラの準備の様子から実際の体験の報告などを、河北新報社が運営する地域SNSサイト「ふらっと」内の「夏ボラ



▲河北新報社の協力による「新聞の読み方講座」

ログ」を通じて随時発信していきます。こちらもぜひご覧ください。今年も将来の担い手に期待する受入団体や応援する企業と協力し、高校生にとって新しい出会いと気づきを得る機会となる夏ボラ体験を始めます！

【NPOで高校生の夏ボラ体験2013】

主催：NPO法人杜の伝言板ゆるる
 共催：かほく「108」クラブ
 協賛：河北新報グループ12社
 東北労働金庫
 問合せ：NPO法人杜の伝言板ゆるる
 連絡先は、裏表紙をご覧ください。
 夏ボラブログ：http://flat.kahoku.co.jp/u/yururu/

あなたの寄付、 NPOで活かしてみませんか？

寄付の力で、NPOを応援！

NPO・市民活動団体にとって、「寄付」は貴重な活動資金であるだけでなく、どのくらい社会に、市民にとつて求められている活動をしているかの指針になります。

そこで、NPO法人への寄付を促すために作られたのが、寄付者への税制優遇がある認定NPO法人制度です。認定NPO法人は、NPO法人よりも一層「公益性のある団体である」ことが求められています。

申請の際には、「広くから支持を受けているか」「その活動や組織運営が適正に行われているか」等を審査されます。従来、認定業務は国税庁が行っていましたが、昨年四月の改正NPO法の施行により、都道府県等の所轄庁へ認定業務が移管されました。それに伴い認定要件も緩和され、多くのNPO法人にとって認定を取りやすい状況となりました。

また設立五年以内のNPO法人は仮認定制度が活用できます。その場合、広く市民から支援を受けているかどうかを判断する認定基準のポイントであるパブリック・サポート・テストをクリアしていなくても、その他の一定要件を満たしていれば、一定の税制優遇措置を受けることができます。(二〇一五年三月末までは、設立五年以上でも申請可)

税制優遇について

個人が寄付した場合、寄付金控除制度が適用され、確定申告をすることで、税金の還付を受けることができます。二〇一一年六月の税制改正により、「所得控除方式」か「税額控除方式」を選べるようになりました。従来の「所得控除方式」と、所得が少ないと減税額も少ないのに対して、「税額控除方式」と寄付者の所得金額に関わらず、寄付した額から自己負担額二〇〇〇円を引いた額の四十％が減税になります。企業などの法人の場合、経費として扱える寄付金の限度額が高くなります。

相続人が相続財産を寄付した場合、寄付をした相続財産は相続税が非課税になります。

本認定の場合、認定NPO法人はみなし寄付金制度を活用できます。収益事業で得た利益から一定の範囲内の金額を、組織内での寄付金とみなすことで、結果として、収益事業にかかる法人税を軽減できます。

認定NPO法人が続々誕生

この春、宮城県内では、既に国税庁が認定していた三団体に加え、新たに認定NPO法人二団体、仮認定NPO法人一団体が生まれました。

◆認定NPO法人

地球のステージ

スペシャルオリンピックス日本・宮城

◆仮認定NPO法人

Switch

その一つ、スペシャルオリンピックス日本・宮城(以下、SON・宮城)は、知的障がいのある方に日常的なスポーツプログラムを提供し、地域社会での自立と社会参加を目指して活動しています。理事長の後藤完也さんは、「仙台地区以外ではSON・宮城の知名度はまだ低く、これらの地域での人と財政面の支援の強化が課題でした。今後は、スペシャルオリンピックスの魅力を伝える広報活動とともに、「認定NPO法人の税制優遇措置適用のメリット」をおおいにアピールしながら、特に仙台地区以外の個人、企業・団体の賛助会員増強に取り組み予定です。二年後の設立二十周年に向けアスリートを支えるために『人と支援の輪』を広げていきたいと思っています」と今後の展望を語ります。

市民の皆さんの寄付によって、行政も企業も手が届かない社会の隙間の課題に取り組むNPOがさらに活動の幅を広げ、社会に貢献できるよう、応援してください。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

(指定管理者：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533

E-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp

文化活動に対する 支援・助成・協力事業(第14回)

- 事業の種類：(1)支援事業
市民による自主的な文化事業で、広く参加者、鑑賞者に開かれた事業に対し、文化情報誌「季刊まちりょく」に情報掲載し、広報支援を行います。
- (2)助成事業
地域の魅力や活力を高める文化振興事業、震災復興に貢献する文化振興事業等、所定の評価項目に該当する事業の経費の一部を助成します。助成採択の可否及び助成額は、外部審査員による審査会を経て決定します。
助成金額の上限：一事業につき上限160万円(収支差額の範囲内かつ助成対象経費の2分の1以内)
- 助成対象：仙台市内の団体(個人)が主催し実施する事業、または仙台市外の団体(個人)が主催し、仙台市内で実施する事業
- 助成期間：平成25年10月～平成26年9月までに実施または開始される下記の事業
・公演(コンサート、演劇公演、舞踊公演など)
・展覧会 ・上映会 ・講演会 ・シンポジウム
・ワークショップ ・セミナー ・出版 ・複合型イベントなど
※複数年度にわたって実施される事業計画も対象となります
- 募集期間：6月16日(日)～6月22日(土)
※支援事業のみの申請の場合は、6月27日(木)まで受付
※詳しくは仙台市市民文化事業団 支援・助成・協力事業 募集案内チラシもしくは、仙台市市民文化事業団ホームページをご覧ください。
- 連絡先：公益財団法人仙台市市民文化事業団 総務課
〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
仙台市青年文化センター内
TEL：022-276-6778(代表)
FAX：022-276-2108

2013年度 ファイザープログラム

～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

- 助成対象：社会において様々な役割を担っている人々や、難病・長期疾病・障がいなどのために社会参加に困難を抱える人々などが、中堅世代(主に30～50代)として生き生きと充実した社会生活を送れるようになるための市民活動および市民研究で、下記のような取り組みを重視
(1)「当事者性」、「専門性」、「市民性」を尊重した取り組み
(2)既存の公的制度や施策では実現することが難しい取り組み
(3)就労を始めとする社会参加を目指した取り組み
- 対象団体：原則として2年以上の活動実績を持つ民間の非営利団体(法人格の種類・有無は不問)
- 助成金額：1件あたり上限300万円(総額1,500万円、7～8件程度)
- 助成期間：2014年1月1日～12月31日(1年間)
- 募集期間：6月10日(月)～6月24日(月) 必着
- 連絡先：NPO法人市民社会創造ファンド
ファイザープログラム事務局 担当：坂本・武藤
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3
日本橋MIビル1階 市民社会創造ファンド
TEL：03-5623-5055 FAX：03-5623-5057

青少年スポーツ振興に関する助成金(後期)

- 対象団体：青少年スポーツの振興に関する事業を積極的にを行い、奨励または自ら行い、かつ3年以上継続して活動している、以下の要件を満たす団体
1)スポーツ振興を主たる目的とする社団法人又は財団法人(公益・一般)
2)上記以外の団体で、所定の要件を備えるNPO法人等の団体
- 対象期間：平成25年10月～平成26年3月の事業
- 助成金額：概ね100万円以内(年度内に予定する1つの事業予算の2分の1)
- 募集締切：6月30日(日) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団
〒113-8543 東京都文京区湯島3-23-13
ヨネックス株式会社内
TEL：03-3839-7195 FAX：03-3839-7196
E-mail：zaidan@yonex.co.jp

平成25年度 在宅高齢者・在宅障害者の福祉に関する助成

【事業助成】

- 助成対象：ボランティアグループ等が在宅高齢者・在宅障害者等のために行う福祉活動、文化活動、復興支援に必要な費用または機器、機材、備品等を整備するための費用
- 対象団体：地域福祉活動を目的とするボランティアグループおよびNPO(法人格の有無は不問)
- 助成金額：1件あたり10万円～50万円(合計2,000万円)

【研究助成】

- 助成対象：法人・民間機関等が実施する老人保健、老人医療、生活習慣病に関する研究、高齢者福祉に関する研究・調査に必要な費用
- 対象団体：非営利の民間団体等および個人
- 助成期間：平成26年12月末日までに完了するもの
- 助成金額：1件あたり30万円～50万円(合計300万円)

【共通事項】

- 募集締切：6月末日 必着
- 連絡先：公益財団法人 太陽生命厚生財団
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2
太陽生命日本橋ビル内
TEL/FAX：03-3272-6268

こ～ぷほっとわ～く助成金 福祉活動・研究助成(上期)

- 助成対象：高齢者・障がい者・児童の生活支援活動、支援施設づくり(改装、備品の購入を含む)、住みよい社会を作るための調査・研究活動、交流会・研究会・シンポジウムの開催等の非営利活動
その他、上記の目的を達成するために必要な事業
- 対象団体：宮城県内で活動する非営利の団体・個人(法人格の有無は不問)
- 助成金額：原則として上限50万円(講演会・フォーラム・演奏会などの開催に対しては、上限10万円をめぐりに助成)
- 募集締切：7月20日(土) 消印有効
- 連絡先：みやぎ生協生活文化部福祉・文化活動事務局
こ～ぷほっとわ～く助成金係
TEL：022-218-5331 FAX：022-218-3663
E-mail：sn.mtasukeai_jimu@todock.jp

TEL/FAX : 022-255-8223
※当日連絡先
TEL : 090-7798-4633(島貫)、
090-9633-4051(工藤)
当日欠席の場合は必ずご連絡ください

★ワークショップ
7月6日(土) 13:00~16:30(ミーティングルーム)
話してみようエスペラント語!
7月7日(日) 13:00~18:00(グラスホール)
エスペラント語で手紙を書いてみよう!

6/27 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日時：6月27日(木) 13:00~17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 定員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

6/28 NPO/NGOの組織基盤強化のためのワークショップ 活躍しているNPO/NGOの秘訣は組織づくりから!

継続的な活動を続けていくためには、組織基盤を固め、事業をスムーズにまわしていくことが重要です。今回、長期的視野で組織を発展させたいと考えている団体のリーダーやスタッフを対象にワークショップを開催し、組織基盤強化を応援する「Panasonic NPO サポートファンド」2013年度の助成金の説明会も行います。組織のステップアップに、ぜひお役立てください。

- 日時：6月28日(金) 13:30~17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 内容：1)基調講演「組織基盤強化の意味と意義について」
(講師：認定NPO法人日本NPOセンター代表理事 早瀬昇氏)
2)事例報告(2団体)
3)組織の課題を認識するワークショップ
4)パネルディスカッション
5)NPOサポートファンドの説明
- 定員：40名(先着順)
- 参加費：1,000円
- 対象：NPO/NGO団体に所属する方
- 申込方法：以下のサイトより申込用紙をダウンロードし、必要事項記入のうえ下記連絡先までFAXまたはメール
<http://www.yururu.com/kokuti/2013/05/npongo.html>
- 主催：パナソニック株式会社
認定NPO法人日本NPOセンター
- 連絡先：NPO法人杜の伝言板ゆるる
(連絡先は裏表紙下部をご覧ください)

7/2 ホントの国際語って こんにちは、エスペラントへ

国や民族の違いにかかわらず、人と人が対等の立場で交流することができる国際共通語エスペラントをご存じですか?エスペラントで行っている様々な国際交流の様子をご紹介します。

- 日時：7月2日(火)~7月7日(日) 10:00~21:00
- 場所：塩竈市生涯学習センター「ふれあいエスプ塩竈」
- 説明：仙台エスペラント会会員
- 内容：★パネル展示(アートギャラリー)
エスペラント語を写真等で紹介

- 対象：どなたでも
- 参加費：無料
- 申込方法：下記主催連絡先までご連絡ください
6月18日からは「ふれあいエスプ塩竈」まで
(TEL 022-367-2010)
当日直接来場も可能です
- 主催：仙台エスペラント会
- 連絡先：〒980-8799 仙台中央郵便局 私書箱120号
TEL : 022-389-1620 FAX : 022-389-1620
E-mail : esperanto@goo.jp

7/6 第24回 フリースクール合同教育セミナー 「不登校・高校中退・発達障がい いじめと不登校について考える」

私たちがフリースクールは、不登校児童生徒などの学校復帰と社会での自立を目標にサポートを行っております。震災を受けた児童生徒も含め、不登校、発達障がい、引きこもりの方の学校復帰、社会的自立の仕方を、私たちの長年に渡る活動実践から提言していきます。

- 日時：7月6日(土) 10:00~12:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 内容：★第1部 民間教育機関の実例紹介と支援について
石川昌征氏(フリースクールだいと代表)
土佐昭一郎氏(ミヤギユースセンター代表)
★第2部 シンポジウム・質疑応答
参加者の皆さんからの質問に本音でお応えします
★第3部 個別相談
- 定員：30名
- 参加費：無料
- 申込方法：不要
- 主催：フリースクールだいと、NPO法人ミヤギユースセンター
- 連絡先：フリースクールだいと TEL/FAX : 022-249-4023
ミヤギユースセンター TEL/FAX : 022-256-7977

7/8 活動が伝わるパンフレットを作るコツ

NPOや行政などで数多くの印刷物のデザインやアドバイスを行っているグラフィックデザイナーから、想いが伝わるパンフレット作成のコツを学びます。

- 日時：7月8日(月) 13:30~16:30
- 場所：名取市役所 6階会議室
- 講師：真山正太氏(一般社団法人メディアデザイン理事、グラフィックデザイナー)
- 対象：社会的使命や公益的目的をもった非営利活動を行う団体や個人
- 定員：20名
- 参加費：無料
- 申込方法：参加者名、団体名、住所、電話番号、FAX、メールアドレス、講座で知りたいポイントを明記の上、FAX、メールにて申込
- 主催：名取市
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：NPO法人杜の伝言板ゆるる
(連絡先は裏表紙下部をご覧ください)

- 主 催：布ナプ普及協会
- 連 絡 先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
レターケースNo.41
TEL：022-797-4082 FAX：022-797-2541
E-mail：napu2@napu2.com
URL：http://napu2.com

6/20 市民活動のための専門相談 “設立運営助成申請相談会”

.....
NPOの設立や申請書類の書き方、組織運営や資金の確保・会計など、NPOが活動の中でぶつかる様々な問題について、経験豊富な相談員がアドバイスをします。助成金申請のための申請書の書き方などもお気軽にご相談ください。

- 日 時：6月20日(木)
1)13:00～14:00 2)14:15～15:15
3)15:45～16:45 4)17:00～18:00
- 場 所：名取市市民活動支援センター 会議室3
- 相 談 員：大久保朝江氏(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 定 員：先着4団体(予約制)
- 相談時間：1団体1時間
- 申込方法：参加者名、団体名、住所、電話番号、FAX、メールアドレス、相談したい内容、希望時間を明記の上、FAX、メールにて申込
- 主 催：名取市
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：NPO法人杜の伝言板ゆるる
(連絡先は裏表紙下部をご覧ください)

6/20 NPOのための経営相談

.....
事業計画を見直したい、何から手をつけていいかわからない...そんな時は外からの視点を取り入れてみませんか?地域の新しい価値創出の取り組みのプロデュースに定評のあるマーケティング・コンサルタントがアドバイスします。

- 日 時：6月20日(木) 13:00～17:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
- 定 員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

6/22 市民のための印刷物デザイン講座

.....
地域活動団体、市民活動団体、町内会、自治会など、あらゆる団体の思いがしっかり伝わる広報物制作のための講座です。

- 日 時：【基礎編】
6月22日(土) 9:30～11:30
【ステップアップ編】
6月29日(土) 9:30～11:30
※連続講座ではありません
- 場 所：多賀城市市民活動サポートセンター 会議室301
- 講 師：真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定 員：15名(申込先着順)
- 参加費：1,000円
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連 絡 先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL：090-3049-0613 FAX：022-224-5308
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/

6/23 ドキュメンタリー「壊された5つのカメラ ラパレスチナ・ビリンの叫び」上映会

.....
パレスチナの民衆抵抗運動の中心地、ビリン村に住むイマードは、息子の誕生を機にカメラを手に入れ、はからずも村の記録者となる。銃撃などでカメラは幾度となく壊されるが、イマードはその度に新しいカメラを手に入れ、5年間でのべ5台のカメラが民衆抵抗運動下の村の日常を克明に切り撮っていく。

- 日 時：6月23日(日) 14:00～
- 場 所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール
- 参加費：前売券1,000円 当日券1,200円
※前売券は「ブックカフェ火星の庭」で販売
- 主 催：パレスチナと仙台を結ぶ会
- 連 絡 先：TEL：022-251-3106
E-mail：isigyou@ybb.ne.jp

6/25 低山探訪会 第3回「初夏の里山・愛宕山を訪ねて」

.....
国指定記念物「雨乞いのイチョウ」も見学します。

- 日 時：6月25日(火) 9:30～15:00
※荒天の場合中止(事務局より連絡します)
- 集合場所：柴田町農村環境改善センター 9:30集合
(柴田町大字入間田字外の馬場220)
- 定 員：20名 ※泉ヶ岳を登れる程度の体力がある方
- 参加費：300円
- 持 ち 物：昼食、飲料、雨具、帽子、ポール、手袋、保険証(コピー可)
※山登りできる服装と靴でお越しく下さい
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 主 催：NPO法人宮城県森林インストラクター協会
- 連 絡 先：〒981-0121 利府町神谷沢字菅野沢41

会計サポーター 派遣事業スタート!!

会計サポーターがあなたの団体の
会計の悩み・疑問を解決します!

? 会計サポーターって?

長年の企業会計・経理経験を持ち、NPO法人会計基準を学んだ有償ボランティアです

? 何をしてくれるの?

・会計やお金の管理・仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス
・活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポート ほか
※実務代行(会計ソフトの入力等)や税金関係の相談は除く



料金

- 1回あたり3時間4,500円
- 1時間延長につき1,500円
※別途、実費分の交通費をご負担いただきます

対象

- 宮城県内のNPO法人

申込

- NPO法人杜の伝言板ゆるるまで
(連絡先は裏表紙下部をご覧ください)

6月21日(金) 19:00 ~ 21:00

- 場 所：迫にぎわいセンター(登米市迫町佐沼西佐沼70)
- 参加費：2,000円
- 申込方法：受講日前日まで要予約。下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催：NPO法人パソコン・ネット・みやぎ
- 連絡先：〒987-0511 登米市迫町佐沼西佐沼70
迫町にぎわいセンター内
TEL：0220-21-5262

6/12 その気にさせる企画書の書き方

市民活動団体が活動資金を得ていくためには、人の心を動かす企画書が必須です。この講座では、平成25年度の「名取市協働事業提案募集要項」を題材に、企画書の書き方のコツを学びます。

- 日 時：6月12日(水) 13:30 ~ 16:30
- 場 所：名取市市民活動支援センター 会議室1
- 講 師：大久保朝江氏(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 対 象：社会的使命や公益的目的をもった非営利活動を行う団体や個人
- 定 員：20名
- 参加費：無料
- 申込方法：参加者名、団体名、住所、電話番号、FAX、メールアドレス、講座で知りたいポイントを明記の上、FAX、メールにて申込
- 主 催：名取市
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：NPO法人杜の伝言板ゆるる
(連絡先は裏表紙下部をご覧ください)

6/14 Book!Book!Sendai2013 ちいさな出版がっこう特別講義「小さな本のつくりかた」

ちいさな出版がっこうの1日だけの特別講義です。昨年の講義の様子や受講生の作品を見て振り返りながら、ご自身でも本を個人出版されている木村衣有子さんと、企画展「ZINESTOPtohoku」のディレクションや装丁・カタログのデザインなどに携わる清水真介さんをお招きし、本づくりへの関わり方とその魅力について伺います。

- 日 時：6月14日(金) 19:00 ~ 21:00(18:30受付)
- 場 所：せんだいメディアテーク7階 スタジオb
- 講 師：木村衣有子氏(文筆家)
清水真介氏(Cyg/homesickdesign)
- 司 会：南陀楼綾繁(なんだろうあやしげ)氏(ライター・編集者)
- 定 員：30名

- 参加費：1,000円(予約優先・当日精算)
- 主 催：Book!Book!Sendai2013実行委員会、せんだいメディアテーク
- 連絡先：Book!Book!Sendai2013実行委員会
FAX：022-716-5336
E-mail：info@bookbooksendai.com

6/15 イクメンからイクメンへ！ パパの地域デビューのすすめ

子育てを積極的に楽しむ「イクメン」パパが増え、ブームになりました。自分の子どもだけでなく、近所の子と遊んだり、さらには子どもを通じて地域のために何ができるか、話し合ってみませんか？

※イク(域)メン：地域の子育てを盛り上げるなど、地域での活動に積極的に参加している男性

- 日 時：6月15日(土) 13:30 ~ 15:30
- 場 所：エル・ソーラ仙台 大研修室
- 講 師：田中雅文氏(日本女子大学教授)
- 対 象：小学生までの子のいる父親
- 定 員：30名
- 参加費：無料
- 申 込：5月7日(火)から受付開始(先着順)
- 託 児：5月7日(火)から受付開始(先着順)
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：エル・ソーラ仙台
TEL：022-268-8044 FAX：022-268-8045
URL：http://www.sendai-l.jp

6/16 布ナプキンと布おむつ ときどきふんどし 布ナプフェスタ2013

布ナプキンの手作りコーナーをはじめ、さまざまなお話がエントレス!大切な情報はここから。使い捨て、便利を求める消費社会に疑問を持っていませんか？

- 日 時：6月16日(日) 10:00 ~ 16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地)
- 内 容：★布ナプキンの手作りコーナー
★布ナプキン、布おむつ、ふんどし販売
★食・カラダ・育児についての講演
前田けい子氏(メイド・イン・アース)
※講演内容の詳細はHPをご確認ください
★おむつ替え、お子様と一緒に読み聞かせ、軽食コーナーなどもあります
- 参加費：500円(ワンドリンク付き、高校生以下は無料)

縦 覧 中

NPO法人の設立を新しく申請した団体				宮城県等所轄分4月11日~5月10日 仙台市所轄分4月11日~5月10日
団体名	所在地	活動内容	受理日	
ピースネイチャーラボ	気仙沼市	就労機会の安定創出、共感型継続的購入(フェアトレード)を推進し、地域発展及び国際協力に資する事業。	4/16	
女川ネイチャーガイド協会	牡鹿郡女川町	女川町の森林を保全し、観光資源として活用していく事業。	5/7	
福寿	若林区	高齢者、障害者に対する共同住宅の提供及び生活支援を行う事業、福祉、介護に関する調査、研究、相談及び啓発に関する事業、その他この法人の目的を達成するために必要な事業	4/11	
宮城県車いすダンス協会	泉区	車いすダンス指導員の養成事業、車いすダンスに関する講演会、講習会の企画運営事業、車いすダンススポーツ競技会の企画運営事業等	4/26	
FIRST ASCENT JAPAN,	青葉区	スポーツスペースの創出及び維持に関する事業、スポーツ競技者の普及、育成、及び啓蒙に関する事業、スポーツに関する情報収集、及び情報提供事業等	5/8	

NPO法人に認証された団体				宮城県等所轄分4月11日~5月10日 仙台市所轄分4月11日~5月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日	
鹿妻・希望の杜	東松島市	東松島市内に住む高齢者や虚弱者、障害者を含む市民に対して、地域福祉に関する事業を行う。	4/22	
ガーネットみやぎ	青葉区	自立に必要な物資の集積・管理・配布事業、地域の特性を生かした産業創出の機会づくり事業、外部支援団体のコーディネート事業等	4/12	
宮城・ミャンマー友好協会	若林区	ミャンマーとの国際交流活動・支援事業、ミャンマー経済貿易・投資推進事業、ミャンマーの教育向上支援・人材育成の事業等	4/22	
煌の会	宮城野区	障害福祉サービス事業所の運営、フリースペースの運営、フリースクールの運営等	4/26	

宮城県のNPO法人数 **715** 団体
宮城県等所轄:323団体
仙台市所轄:392団体
※2013年5月10日現在

- 利用条件：・東日本大震災(福島原発事故も含む)に被災した親子
・0歳から9歳の子どもは保護者同伴、10歳以上の子どもは単身での利用も可
・他の利用者との共同生活に支障がない方(妊娠中の方もご相談ください)
※状況により柔軟な対応を検討しますのでお問合せください
- 利用料：未就学児：無料
小学生以上：1人1,000円/日、25,000円/月
※入居に伴う賃料や初期手数料等は一切発生しません
- 入居可能人数：16名程度(先着順、8畳・ユニットバス付の個室8部屋が利用できます。家族構成によっては一室3名での利用も可能)
- 申込方法：電話予約の上、所定の保養申込書を記入の上、メール、FAX、郵送にて申込
申込状況によっては希望に添えない場合があります
- 主催：NPO法人日本の森バイオマスネットワーク
- 連絡先：手のひらに太陽の家
〒987-0702 宮城県登米市登米町寺池辺室山17番地1
TEL：0220-23-9755 FAX：0220-23-9756
E-mail：info@taiyounoie.org

- 連絡先：NPO法人杜の伝言板ゆるる
(連絡先は裏表紙下部をご覧ください)

6/8 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛い気持ち等を、静かに語り合います。会の中で話されたことは、他に漏れることはありません。普段の生活の中ではなかなか話せないこと、ご遺族同士だからこそ分かり合える気持ちなど、安心してお話しして頂くことができます。

- 日時：★岩沼会場(毎月第2土曜日)
6月8日(土) 14:00～16:30
場所：岩沼市民会館 第2会議室(岩沼市里の杜1-2-45)
★石巻会場(毎月第2日曜日)
6月9日(日) 14:00～16:30
場所：カリタスジャパン石巻ベース(石巻市末広町3-14)
★仙台会場(毎月第3土曜日)
6月15日(土) 14:00～16:30
場所：仙台市市民活動サポートセンター(仙台市青葉区一番町4-1-3)
★気仙沼会場(毎月第3土曜日)
6月16日(日) 13:00～15:30
場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」(気仙沼市東新城2-2-1)

- 対象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参加費：無料
- 申込方法：不要
※託児をご希望の方は事前にお知らせください
- 主催：仙台グリーフケア研究会
- 連絡先：仙台グリーフケア研究会
TEL：070-5548-2186

6/11 登米パソコン教室 ワードで「暑中見舞い」を作ろう&エクセルで家計簿を作ろう!

- 日時：【ワードで「暑中見舞い」を作ろう】
6月11日(火) 10:00～12:00
6月14日(金) 19:00～21:00
【エクセルで家計簿を作ろう!】
6月18日(火) 10:00～12:00

イベント

6/8 NPOよろず相談会

広報や情報発信、イベントの企画運営、会計など市民活動に関わる業務の中で、ちょっと聞いてみたいこと、疑問に思っていることなどありませんか。NPO支援施設のスタッフが、あなたの疑問にお答えします。

- 日時：6月8日(土)、6月13日(木)、6月22日(土)、6月26日(水) ※各回10:00～16:00
- 場所：名取市市民活動支援センター 会議室3
- 内容：団体設立、情報発信、講座企画運営、広報、会計などの相談
- 相談員：NPO法人杜の伝言板ゆるるスタッフ
- 対象：市民活動を行っている個人・団体、または市民活動に関心がある方
- 参加費：無料
- 申込方法：参加者名、団体名、住所、電話番号、FAX、メールアドレス、相談したい内容、希望相談日を明記の上、FAX、メールにて申込
- 主催：名取市
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる

かほく「108」クラブ通信

企業の社会貢献

かほく「108」クラブは、河北新報グループ12社とその社員が社会貢献活動を展開するために組織した任意団体です。河北新報が創刊108周年を迎えた2005年に発足し、名称はそれに由来します。活動資金12社と社員による寄付によっています。

当クラブは、地域の市民活動団体を支援することで地域活動の発展に寄与したいという願いから「かほく108ファンド」をつくり、2007年から、「子どもたちに笑顔を」を合言葉に、将来を担う子どもたちの「心」と「からだ」を育む活動に

毎年、助成してきました。これまでに今年5月の審査会で選考された10団体を加え、延べ54団体に助成しています。

また、2008年から杜の伝言板ゆるるが主催する「NPOで高校生の夏ボラ体験」にも、毎年100万円を提供し共催しています。

この他、東日本大震災の被災地の子どもたちの元気を取り戻す機会としてプロ野球東北楽天の試合に招待したほか、ベガルタ仙台の試合に招待する「2012宮城・東北DreamProject」に協力し、ベガルタ仙台から感謝状を頂きました。

今年も被災した子どもたちをサーカスに招待したり、仮設住宅の皆さんを元気づける夏の盆踊り企画に浴衣を贈り、応援する予定です。

今回は、「108」クラブの活動を紹介しました

が、次回からは、「108」クラブを構成する12社から毎月発信していきます。



▲ベガルタ仙台から贈られた感謝状

- 選考方法：書類審査および訪問調査(ヒアリング)
- 応募方法：所定の推薦書用紙に記入の上、郵送にて申込
推薦書用紙はHPからダウンロード可能
- 応募締切：7月12日(金) 消印有効
- 主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会
- 連絡先：「まちかどのフィランソロピスト賞」事務局
「青少年フィランソロピスト賞」事務局(どちらも
同じ連絡先です)
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル244
TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585
E-mail：HPのお問合せフォームをご利用ください
URL：http://www.philanthropy.or.jp/

- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせ下さい
- 主催：フレッシュパール会
- 連絡先：〒987-2216 栗原市築館伊豆2-6-1
TEL：0228-22-6208、080-1830-2822

マサイ大作戦2012-2013 マゴソスクール 先生給与捻出プロジェクト!

.....

バナナ葉ボールペンで、先生と子どもたちの支援を行います！1本500円で販売したこのボールペンのうち、利益となる350円全額をマゴソスクールに寄付させていただきます。スラムの小学校支援になり、なおかつ職人さんの貴重な現金収入にもつながるWプロジェクトです。

- 価格：1本500円
- 購入方法：下記HPから、または下記連絡先までお問い合わせください
http://amani-ya-africa.shop-pro.jp/?pid=54113666
- 主催：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ
- 連絡先：TEL：022-247-4225
E-mail：info@amani-ya.com

事業案内

「にほんごのもり」(Japanese study room)

.....

「にほんごのもり」では外国人の方に日本語のボランティアをしています。日本語で会話の練習をします。また、日本語について質問にお答えします。

- 日時：毎週 火・金曜日 13:00～15:00
- 場所：仙台国際センター 1階交流コーナー 研修室
- 参加費：無料
- 申込方法：不要。直接研修室に来てください
- 主催：にほんごのもり
- 連絡先：TEL：022-272-7278(黒川)、
022-278-0734(松永)
E-mail：matukenhope@yahoo.co.jp

栗原パソコン教室

学習課題・カード作成に挑戦しよう!

.....

パソコンに興味のある人、高齢者、障害者のための「教えあい学習」を行っています。ご自身のパソコンを持参して学べます。ご希望の方は是非ご連絡ください。一緒に楽しく学びましょう!

- 日時：月曜日～土曜日
- 場所：(月曜日)志波姫 (火曜日)一迫・鶯沢
(水曜日)築館・高清水
(木曜日)若柳・金成・築館
(金曜日)瀬峰・栗駒 (土曜日)金成・築館
※詳細はお問い合わせ下さい
- 内容：ハガキ作成、カレンダー作成、デジカメ講座
- 参加費：入会金1,000円
会費2,000円/月(月4回受講)

NPOの法人設立・運営相談

.....

NPOの設立や法人申請書類の書き方、組織運営や資金の確保・会計など、NPOが活動の中でぶつかる様々な問題について、乗り越えるためのアドバイスをいたします。

- 日時：毎週水曜 13:00～17:00
- 場所：みやぎNPOプラザ
- 定員：3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

「手のひらに太陽の家」利用者募集

.....

手のひらに太陽の家では東日本大震災の影響で様々な困難に直面している子ども、親子の入居を受け入れて支援を行っています。特に放射線量の高い地域からの一時避難や保養滞在を中心に受け入れています。滞在やご利用を希望の方はお気軽にお問い合わせください。
※登米市の教育委員会とも連携をしており、小中学校の見学や転校手続きもお手伝いできますので、お気軽にご相談ください。

- 利用可能時期：現在、平成25年8月25日(日)までの利用を受付しています
- 滞在期間：週末のみの利用から数か月単位の長期滞在までご利用可能
※平成25年7月20日～8月25日までの夏休み期間は最長1週間まで利用可能

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.5.16現在)敬称略

●正会員 50名

●賛助会員 89名

★岩沼市 ●池田節子

会員募集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

5月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

こどもがつくるまち「Piccoli せんだい」2013 サポーター募集

8月に行われる街づくりプロジェクト『こどもがつくるまち「Piccoli せんだい」2013』。ピコせんキッズと呼ばれる子どもたちが、月2回会議を実施し自ら街のシステムを考え、主体性・創造性を活かしながら協力し企画・運営する仮想都市です。独創性あふれるこのプロジェクトを一緒にお手伝いいただける方を大募集いたします！

- 主な活動場所：宮城野区文化センター、宮城野区中央市民センターなど
- 活動予定日：子ども会議：毎月第2・第4日曜日 14:00～
※「Piccoliせんだい」は8/9・10・11です。他、活動詳細は随時お知らせします
- 応募条件：笑顔があればOK！
- 募集人数：100名(男女年齢問わず)
- 報酬：なし
- 申込方法：電話、メールにてご連絡ください
- 募集主体：ピコせんサポーター
- 連絡先：〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2-12-21
永和ハイツ第二203号室
TEL：080-2823-0872 FAX：022-355-2624
E-mail：info@picosen-kids.com

フリースペースいっぽいっぽ ボランティア募集

フリースペースいっぽいっぽの活動において、ボランティアさんは非常に重要です。それは、利用者さんが、(年齢の近い)話し相手を探していることが多いからです。その中で、福祉・教育など、人と関わる仕事に等しく求められる「カウンセリングマインド」を学ぶこともできます。

- 活動日時：午後から、夕方だけなど短時間でも結構です
週1回程度来て下さるとうれしいです
できるだけ長く続けて下さる方を求めています
- 活動場所：フリースペースいっぽいっぽ(下記連絡先参照)
- 活動内容：利用者さんの話し相手になったりして、一緒に活動していただきます
- 対象：資格・経験等は問いません
- 申込方法：活動の様子、ボランティアの仕事などを説明し、質問等に応じたりする時間を取りたいと思いますので、まずはお電話下さい
- 募集主体：フリースペースいっぽいっぽ
いっぽいっぽの会 ー(^o^)
歩
- 連絡先：〒984-0816 仙台市若林区河原町1-7-20
TEL/FAX：022-711-4218
E-mail：ippoippo_kawaramachi@ybb.ne.jp
URL：http://cosmosnokokoro.sakura.ne.jp/
ippoippo/

西塩釜ミニストリートライブ(7/15) 運営ボランティア募集

7月15日(月)の海の日、JR西塩釜駅遊歩道でミニストリートライブを開催します。その際に運営を手伝ってくれるボランティアさんを募集します。

- 申込締切：6月15日(土)
- 連絡先：西塩釜ミニストリートライブ実行委員会
広報・ボランティア担当
TEL：090-2022-3347(蜂屋)

お知らせ

ボランティア活動保険「大規模災害特例措置」延長終了のお知らせ

2011年3月12日に適用され、8月から延長されてきたボランティア活動保険「大規模災害特例措置(天災プランに限り加入日即日適用)」が2013年6月11日をもって終了となります。それに伴い、6月12日以降はボランティア活動保険(天災プランにおける)加入申込日の当日適用ができなくなり、通常通り、翌日からの適用となりますのでご注意ください。

- 連絡先：社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
TEL：022-222-0010(宮城社会福祉会館内)
FAX：022-217-9388
TEL：022-266-3951(みやぎボランティア総合センター)
FAX：022-266-3953

第16回 まちかどのフィランソロピスト賞

社会の役に立ちたいという思いを込めた寄付はフィランソロピーと呼ばれます。しかし、日本では寄付に対する評価はまだまだ低いのが現状。日本にも寄付の文化が育つことを願って、さまざまな思いや心あたたまるエピソードを秘めた寄付を募集します。

- 対象：★一般部門(他薦のみ)
社会のために私財を投じた個人またはグループ
★青少年部門(自薦・他薦)
「第4回青少年フィランソロピスト賞」として開催
社会のために寄付・募金活動をした高校生までの個人またはグループ(学校・学級・部活動単位も可)
- 対象期間：2003年1月1日から現在
- 選考基準：
・フィランソロピー精神(人類愛)から生まれた寄付であるもの
・社会のために役立つ寄付であるもの
・寄付にあたって人々を感動させるエピソードがあるもの

宮城県と協働でNPOの活動をサポート!!

◆ろうきんはNPOの活動を応援しています!!◆

宮城県NPO活動支援融資制度をご活用ください!!

- 対象: 1年以内に国または自治体等からの委託金・補助金、および団体からの助成金等の受給が確定している特定非営利活動法人(NPO法人)
 - 資金使途: つなぎ資金
 - (1) 行政からの委託事業、支援費等補助金のつなぎ資金
 - (2) 助成金決定から交付までのつなぎ資金
 - (3) その他のつなぎ資金
 - 融資額: 委託金・補助金・助成金等の範囲内
 - 融資種類: 手形貸付
 - 金利: 年1.70% (固定金利)
 - 保証: 代表者1名以上の個人保証
 - 返済期間: 1年以内
 - 担保: 不要
 - 取扱窓口: 宮城県内の全営業店
- ※審査の結果、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



全国の金融機関に先駆けてろうきん業態が取扱いを開始したNPO事業サポート融資制度。東北ろうきんでは2005年4月より宮城県と提携して取扱いを開始しています。

2013年5月1日現在



お問合せ・お申し込みは<東北ろうきん>宮城県内の最寄りの店舗へ

☎ 0120-1919-62

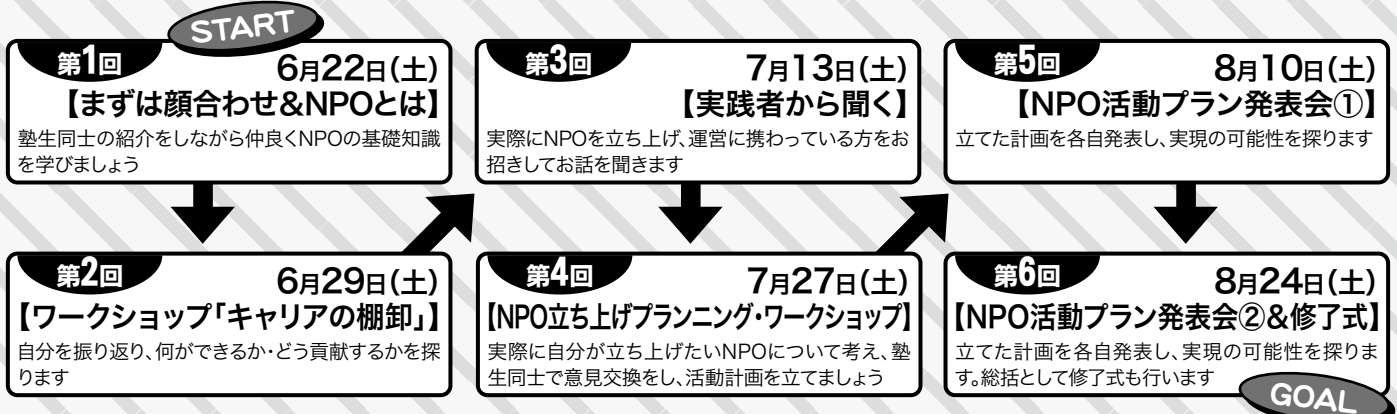
第14期

50歳からのNPO実践塾



人生の円熟期を迎えたミドル&シニアの皆さま!
これまでに培われた社会経験を市民活動に生かしてみませんか?
全6回の“実践的”プログラムを通して、団体や事業の立ち上げに導きます!

- 対象: おおよそ50歳以上のミドル&シニア
- 時間: 14:00~16:30
※16:00~16:30は懇談タイム(参加自由)



- 定員: 16名(申込先着順)
- 参加費: 4,800円(税込)

※都合により日程を変更する場合があります

主催: 宮城県(みやぎNPOプラザ) 企画・実施: NPO法人杜の伝言板ゆるる 申込先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)